

登録コード	HB494200	開講年度	2026				
授業題目	歯科人工/生体材料学特論					担当教員	栗田 浩 他
英文授業名	Artificial and Biological materials					副担当	酒井 洋徳
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	生命医工学専攻1~2年
				授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄					(授業の達成目標)	
	2026HB4年制初						
	【研究科共通_2024年度以前カリキュラム対象】専門分野以外の課題を見渡し自身の研究課題の社会的意義を再認識する俯瞰力 ⇄					人工・生体材料を理解する。	
	【専攻】医学と理工学の融合領域における課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力 ⇄					人工および生体材料を理解し、研究計画を立案できる。研究の社会的意義を説明できるようになる。 人工及び生体材料を理解し、研究計画が立案できるようになる。	
(2)詳細/Detailed information	歯科医療、口腔外科医療では多くの人口／生体材料が使用されています。本授業ではこれら一般歯科材料、生体材料、医療機器について学び、特に生体材料、医療機器に関してはその製作・開発法、検査・評価方法、動物実験・臨床研究法、臨床応用などについて理解を深めることを目的としています。						
(3)授業の概要/Overview of course	一般歯科材料、生体材料、医療機器について学び、特に生体材料、医療機器に関してはその製作・開発法、検査・評価方法、動物実験・臨床研究法、臨床応用などについてこれまでの研究室での研究結果を踏まえながら理解を深める。						
(4)授業計画/Course plan	1, 歯科材料（第1回） 2, 生体材料（第2～3回） 3, 医療機器（第4～5回） 4, 製作・開発法（第6～7回） 5, 検査・評価法（第8～9回） 6, 動物実験法（第10～11回） 7, 臨床研究法（第12～13回） 8, 臨床応用（第14～15回）						
(5)成績評価の方法/Grading/evaluation method	全ての講義終了後には、レポート等を課して理解度を評価する。 総合評価として、90点以上「秀」、80-89点「優」、70-79点「良」、60-69点「可」59点以下「不可」とする。						
(6)成績評価の基準/Grading/evaluation criteria	歯科材料の種類、特性を理解し、材料の評価および実験方法を理解していれば「可」とします。						
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容/Notes	授業は、講義および実習により行います。 各実習および講義の前に、あらかじめ予習をして理解をして臨んでください。 積極的な出席を望むが、評価はレポートにより行います。						
(8)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	随時受け付けます。 メール（hkurita@shinshu-u.ac.jp）も可です。						
(9)授業の形式/Course format	授業はオムニバス形式で行います（それぞれの講師、開催時間を連絡します）。						
【教科書/Textbook(s)】							
【参考書/Reference work(s)】							